

たかといちどいだよい



令和7年12月 第122号
たかといちどい保育園



もういくつ寝ると お正月

宮田 孝一

自由国民社「現代用語の基礎知識」は、11月5日に「2025 T&D 保険グループ 新語・流行語大賞」ノミネート語30を発表しました。

このうち、その言葉が生まれたり、流行ったりした社会事象や背景まで知っているのは13語でした。年々世間のことになると疎くなっているのを感じますが、まだ世の中について行けているのでしょうか。もう置いてけぼりになっているのでしょうか。

ただ、「二季」がエントリーされていることには驚きました。9月号のテーマは「日本は五季、そして二季に!?」でしたが、ここまで認知が広がっているとは思っていませんでした。我ながら先見の明があったなと、自負しています。

雪国育ちの私は、「お正月には凧揚げて コマを回して遊びましょ」と歌いながら、「こんな遊びができるんは、雪が降らん都会の子だけや。」と、うらやましく思ったものです。今では、故郷の子どもたちも、正月に凧揚げができるようになりました。この冬は、「クリスマス寒波」や「正月寒波」という言葉は聞けるのでしょうか。

凧揚げはできなくても、お雑煮をたくさん食べたり、親せきの家に遊びに行ったり、何よりお年玉をもらえることがうれしく、お正月が来るのを指折り数えて待っていました。クリスマスに大みそか、そして三が日。子どもたちに楽しい日々が続きますように。よいお年を。

第42回 2025年 ノミネート語

No.01 エッホエッホ	No.02 オールドメディア
No.03 おてつたび	No.04 オンカジ
No.05 企業風土	No.06 教皇選挙
No.07 緊急銃撃／クマ被害	No.08 国宝（観た）
No.09 古古古米	No.10 7月5日
No.11 戦後80年／昭和100年	No.12 卒業証書19・2秒
No.13 チャッピー	No.14 チョコミントよりもあ・な・た
No.15 トランプ関税	No.16 長袖をください
No.17 二季	No.18 ぬい活
No.19 働いて働いて働いて働いて働いてまいります／女性首相	No.20 ピジュイイちゃん
No.21 ひょうろく	No.22 物価高
No.23 フリーランス保護法	No.24 平成女儿
No.25 はいたらね	No.25 麻辣湯
No.27 ミャクミャク	No.28 菜譜
No.29 ラブフ	No.30 リカバリーウェア

12月の予定

誕生会	3日（水）
避難訓練	11日（木）
わくわく発表会・懇談会（にじぐみ）	13日（土）
発育測定	15日（月）～18日（水）
交通安全教室（幼児グループ）	17日（水）
幼児グループ懇談会	20日（土）
クリスマス会	23日（火）
体育あそび	8日（月）・18日（木）



あさひぐみ



食前やおやつの前に手洗いを行っています。「ご飯だよ、手を洗おうね」と声をかけると、水道のところへ向かう姿が増えてきました。一緒に水を出して石鹼をつけると、両手を合わせてこすり洗いをしています。石鹼を水で流した後は、保育士と一緒にペーパータオルで手を拭いています。拭いた後には、自分でゴミ箱まで捨てに行くようになってきました。繰り返し手洗いをする中で、石鹼を使って丁寧に洗う習慣が身につくように援助していきます。

指先が発達し、少しずつ細かい動きができるようになってきました。今月はプラステンという玩具やシール貼りで指先の発達をさらに促したり、椅子に座ってパズルやなぐり描きをしたりする予定です。子どもたちが集中して遊べる環境を整えていきます。



ゴミ箱に ポイ



ひかりぐみ



先月は、ラーメン屋さん、ドーナツ屋さん、ジュース屋さんなどのごっこ遊びを楽しみました。「これください~」「いらっしゃいませ~」「はいどうぞ~」「おいしいですよ」とお客様や、店員になりきって友だちと言葉のやりとりをする姿も見られました。お店で買ったものを、「〇〇ちゃんいらっしゃよにたべよう」「ここでたべよう」と言い、美味しいように食べる微笑ましい場面もみられました。今後も、様々なごっこ遊びをする中で、一人ひとりの発想を十分に認め、楽しい気持ちに共感し丁寧に応答することで、自由に見立てて遊んだり、言葉のやりとりを楽しめるようにしたりしていきます。

身の回りのことに興味をもち、声をかけると自分でしようとする姿が増えてきました。今月は、遊んでいたものを元の場所に片付けることを丁寧に伝え、一緒に片付けをすることで、習慣づくようにしていきます。



にじぐみ



10月後半からブクブクうがい・ガラガラうがいに取り組んでいます。食後や戸外から帰ってきた時にすることを丁寧に伝えたり、再度手洗いの仕方も知らせたりしました。うがいの違いを見本を見せながら知らせると、子どもたちも意識しながら意欲的に取り組もうとしていました。上を向いてうがいをすることは難しそうにしていましたが、一人ひとり日々頑張って行う姿が見られます。今後も、丁寧な手洗いうがいが習慣づくように引き続き傍で声をかけて伝えていきます。

今月は、たかとりちどりキッズの友だちとふれあい遊びをしたり様々な玩具で遊んだりなど、たくさん関わる機会を作り、遊びに誘い掛けたり仲立ちしたりすることで十分にやりとりが楽しめるようにしていきます。



がらがらうがい
できるよ





きりんグループ



寒くなるにつれ、感染症が流行りだします。子どもたちができる予防法はうがいと手洗いです。『どうしてかぜをひくの？インフルエンザになるの？』という絵本を通してウイルスについて、知らせました。保育士が話す前に年上の子どもたちが覚えて「はなみずをふいたらてをあらうんだよね」「うがいは2かいいじょうするよね？」と確認するように話してくれたり、手洗いの際には隣の友だちに「せっけんつけてないよ」「いまはガラガラうがいたよ」と伝え合ったりしています。引き続き、習慣付くよう手洗いの表を見ながらみんなで確認していきます。

来月は毛糸でマフラー作り、あやとり、コマ回し、折り紙、けん玉などのコーナーを作り、それが集中して昔ながらの遊びを楽しめるようにしていきます。



きれいに
あらうよ



うさぎグループ



先月はみんなで食事中のマナーについて確認しました。癖で足を組んだり、椅子の上にあげたりする様子がよく見られます。「〇〇ちゃん、まっすぐにすわってね」「あしはゆかにつけるよ」と、気が付いたことを話していました。ほしぐみの子どもたちの箸の持ち方を、そら・ゆめぐみが見て、「そうそう！」「〇〇くん、あってるよ」と、確認する姿も見られました。今後も食事のマナーを守って食べられるように確認したり、声を掛けたりしていきます。

うさぎグループの子どもたちは絵を描くことが大好きです。いつもは自分の自由画帳に絵を描いていますが、友だちとやりとりしながらのびのびと絵を描けるように、大きな模造紙と広々とした空間を用意したり、楽しさに寄り添ったりしていきたいと思います。



ぞうグループ



先月は、ダンス大会に必要な物についてみんなで話し合いました。応援用にペンライトや歌をうたう用にマイクを作り、ステージには旗や風船などを用いて飾りつけて舞台を完成させました。作ったステージで、いざ踊りが始まると、推しの顔を描いたペンライトを振りながら応援したり、みんなに見守られながらダンスを踊ったり、とても楽しんでいました。今後も、子どもたちがやってみたいことを実現できるよう環境を整えて、のびのびと遊びを発展できるように援助していきたいと思います。

最近トイレを使用した後に、スリッパを揃えずそのままにしていることがあります。今月は、次に使う友だちのために、思いやりの気持ちをもって揃えられるように子どもたちと話し合ったり、保育士が見本を見せたりしていきます。



がんばれ～

きりんグループ



《今、夢中になっているあそび》



きりんグループで今好きな遊びは「バナナ鬼」と「ハンカチ落とし」です。きりんグループの子どもたちは、ほぼ、けんかすることなく穏やかなグループですが、バナナ鬼やハンカチ落としが始まると大きな声、大絶叫で楽しんでいます。

屋上園庭やテラスでは、異年齢児が交わり、いつのまにかバナナ鬼が始まります。1人、2人と加わり全速力で走り回っています。ハンカチ落とし(なんと発祥はケニアだそうです)は、知らない、したことがないということだったので、ルール説明から始めました。最初はハンカチを友だちの後ろに置いてもジーっとその場に立っていたり、反対に走り始めたり、座るタイミングがわからず1周、2周と走り続けたりするハプニングもありました。今では、ハンカチを置いたらすぐタッチされないように1周走っています。「〇〇ちゃんまだだからおいてあげて」「ぼくのところにおいてー」とゲームを楽しめるようになっています。集団で遊ぶ楽しさを味わい、集中力、判断力が高まっています。これからもみんなでルールのある遊びや伝承遊びなどを楽しめる環境を整え、援助していきます。



バナナ鬼とは・・・基本は鬼ごっここのルールですが、鬼にタッチされた子は、その場で頭の上で両手の手のひらをくっつけてバナナのポーズで立ちます。他の友だちがバナナの皮をむくようにバナナポーズの友だちの手を下げる助けます。その子は再び逃げられるようになります。



《滋賀の旅 ～のんびり話題のスポットめぐり～》



息子が大学生になって滋賀で一人暮らしをするようになり、私も滋賀に行く機会が増えました。この機会に滋賀を満喫しようと思い、色々な名所を訪れています。一番良かった場所は、何といっても標高1100メートルに位置する琵琶湖テラス。ロープーウェイで空中散歩を楽しみ山頂に降り立つと琵琶湖を一望できる大パノラマ。息をのむほどの美しさです。滋賀にはたくさんの寺院もあり秋には紅葉を楽しむことができます。旧竹林院のライトアップされた紅葉はとても幻想的です。また、滋賀から車で30分ほど足をのばせば、京都の大原にも行くことができます。大原は観光客で活気があり、目的地に向かうまでに「おつけものやさん」「ポン酢屋さん」などがたくさん並んでいます。威勢のいい店員さんの声に誘われてお店をのぞいてみたら美味しいものがたくさんあり、食べることが大好きな私はついついたくさんのお土産を買ってしまいました。それ以外にも、メタセコイヤ並木や人気スポットナンバー1のラコリーナなど様々なところを訪ねて楽しんでいます。



琵琶湖テラス



メタセコイヤ
並木



旧竹林院
ライトアップ



ラコリーナ
近江八幡

滋賀は高い建物が少なくて湖の周りをドライブするだけでも気分爽快です。近々、近江牛を食べに行く予定です。滋賀は車で2時間ほど。近場で旅行を楽しめます。皆さんも是非訪れてみてください。

小西 桂子